

【研究課題名】 963 研修医による麻酔管理と麻酔科医による麻酔管理における抜管時記憶発生頻度の比較

【実施責任者】 集中治療部 准教授 井上 聡己

【実施分担者】 中央手術部 学内講師 田中 優
麻酔科学教室 教授 川口 昌彦

【研究の意義】

全身麻酔時の抜管時記憶は非常にストレスでありPTSDの一因となり、医療の質を落としかねない。教育病院として研修医の医療行為への参加が医療の質に関係しているのか全身麻酔時の抜管時記憶の発生を指標に調査し評価することは重要である。

【研究の目的】

麻酔科術後外来での抜管時記憶の発生状況を調査し研修医管理と麻酔科医管理により差があるのか調査すること

【研究の方法】

麻酔科外来では抜管時記憶の有無を問診しておりこの結果をファイルメーカーに入力しExcelに統合し管理している。また、当科では麻酔台帳に各症例を登録しており、患者背景、術式、診断、麻酔方法、麻酔手術時間、合併症、体位、麻酔管理者などの記録を残しており、これもファイルメーカーに入力しExcelに統合し管理している。この2つのデータベースを患者IDにより統合し合わせて利用する。これらの麻酔科管理症例から挿管されて麻酔管理された症例を抽出し、抽出されたデータからプロペンシティスコア(PS)を算出し、研修医管理と麻酔科医管理をPSで1:1にマッチングさせて抜管時記憶頻度を比較する。マッチングされる症例は各群およそ3000症例である。PSは独立変数として患者背景、術式、診断、麻酔方法、麻酔手術時間、合併症、体位などの背景因子、従属変数として麻酔管理者(麻酔科医か研修医か)とする多変量解析から算出する。

【研究機関名】 奈良県立医科大学 麻酔科学教室

【個人情報の扱い】

個人情報に関しては連結可能匿名化し利用するがデータベースを患者IDにより統合した時点で患者IDは消去するため保護される。

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者：麻酔科学教室 井上 聡己

〒634-8522

奈良県橿原市四条町 842

TEL 0744-22-3051